

No.	100	<h1>ファイヤーのつどい</h1>			
概要	○火を囲んで、出し物やゲームや歌などを楽しみながら交流する。				
内容	人数(人)	~150人	時間	2時間程度	
	対象	小1以上	時期	通年	
	場所	ファイヤー場(~150人程度) ・ 集いの広場(~50人程度)			
	指導形態	自主活動 ・ 職員による事前の説明のみ ・ 職員による直接指導			
	安全管理	引率者による監視			
ねらい	○ 仲間と共に過ごす喜びを味わい、友情を深める。 ○ グループごとに、準備・片付けや活動をすることで協力する心、思いやりの心を育てる。 ○ 火の神秘さや大切さ、自然の偉大さに気づく。				
準備	施設から貸出	・ 営火長の衣装, 冠, つえ ・ アンプ ・ ワイヤレスマイク ・ CDデッキ ・ コードリール ・ キャンプファイヤー用音楽CD ・ チャッカマン など			
	団体で準備	・ ファイヤーのつどい 台本 ・ 活動しやすい服装(雨天時には雨具, 寒い時期は防寒具) ・ 運動靴 ・ スタンツ等で必要な物 ・ 軍手(準備係) ・ 虫除けスプレー <事前に予約注文が必要なもの> ・ 薪セット ・ トーチ棒 ・ 灯油 ・ ロウソク(荒天時用)			
	確認事項	・ 当日複数の団体がファイヤーのつどいを行う場合は、団体の規模等により、ファイヤー場、集いの広場のいずれかを指定する。 ・ 引率者は16時30分頃から職員と準備、打ち合わせを行う。その際、実施方法や監視体制・安全管理についても確認を行う。 ・ 荒天時は、キャンドルのつどいへの変更が可能である。(ロウソクの事前注文が必要。キャンセル可) ・ 利用団体は、健康状態の把握に努め、留意すべきことがあれば事前に相談する。			



	内 容	留意事項
活動前	16時30分頃 エントランス集合。 本施設職員による薪の組み方、片付け方等の説明後、準備を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>やぐら 見本</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トーチ 見本</p>  </div> </div>	・ 団体は、10名程度の研修者を準備係に当てること。この時に借用物の確認をすること。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #fff9c4; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>☆貸出し可能な物品☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャッカマン ・ 営火長衣装など ・ CDデッキ ・ 音楽用CD ・ コードリール ・ ワイヤレスマイク ・ アンプ </div>
活動の説明	担当職員が以下のような説明を行う。 ・ 活動の流れについて。 ・ やぐら(火床)への点火の仕方。(必ず風上から。追加の薪も風上から) ・ トーチ棒の扱い。(分火の際は、もらうまでは必ず下向きで待ち、もらうときに挙げる。消火と後処理の仕方。)	・ 団体で必要に応じて説明内容を加える とよい。
展 開	○ 「ファイヤーのつどい」の基本パターンは、 第1部 迎火の儀式 第2部 親睦の火(ゲーム, スタンツ等) 第3部 送火の儀式 (このパターンにこだわる必要はない。) ※事務室に、参考資料あり。 ○ 終了後、ファイヤーの消火を行う。(消火後、事務室に連絡) ○ 翌日の朝、残った薪・灰を捨て、まわりを掃除する。	・ 火を扱う活動になるので、引率者は、活動中の安全について十分注意する。 ・ 終了後の余韻を大切にしたい。 ・ 楽しかったこと、よかったことを発表しあう。 ・ 終了後、消火を確実に(水道ホースを利用)、事務室に連絡し、職員の点検を受けること。(遅番職員は消防署へ終了連絡をする) ・ 最終的な掃除は、翌朝行い、営火炉の下に落ちたり、残ったりした灰は、きれいに取り除く。残灰や燃え残りは消火缶に入れておく。7時05分に職員による点検を受ける。